

山梨県の広報誌

ふれあい

特集号

冬

vol.47



巻頭

元気いっぱい
山梨の農業!!

やまなし大使

萩原智子さん

動画で
見てみよう

元気いっぱい、山梨の農業!!



シクラメンの手入れをする三浦さん

恵まれた自然条件と、先人のたゆまぬ努力が生み出した生産技術を活用し、生産量日本一を誇るブドウ、モモ、スモモなどの特色ある産地が形成されている山梨県。県では、農業が地域の魅力の原動力となるよう、さまざまな施策を展開しています。

農業の未来を担う若い力を育成

農業のさらなる発展には、担い手の確保が重要です。そこで今回は、日頃から山梨の農業を応援している、やまなし大使の萩原智子さん、さんが専門学校山梨県立農業大学校を訪ね、担い手の育成に取り組む様子をレポートします。

幅広い学びが夢への一歩

北杜市長坂町にある県立農業大学校は、県内唯一の農業専門学校。2年間にわたって果樹、野菜、花きの基本的な栽培技術から、流通、販売に至るまで、幅広く農業について学べます。

この日は、県立農林高校の生徒が農大を訪れ、連携授業が行われました。温室では、種から育てたシクラメンの前に、農大生が高校生たちを指導しています。

「僕の実家は花き農家で、農大には花の栽培技術を身に付けに来ましたが

果樹の実習をしていくうちに、将来は実家のある富士北麓地域で生食用ブドウを作りたいと考えるようになりました」と園芸学科2年生の三浦さん。萩原さんは「応援するよ。頑張つてね!」と、力強いエールを送りました。

青空の下

収穫の喜びを満喫

野菜ほ場では、大根、白菜などが収穫の時を迎えています。自宅マンションで家庭菜園をしているという萩原さんも、「ここにいるだけで、野菜の良い香りがしてくるね」と感動した様子。



人生初の山芋掘りに挑戦。パイプを使って育てた山芋は真っすぐ

将来を見据え 農業と向き合う学生たち

連携授業で学んだことや
農業への思い、将来の夢。
山梨の農業を支えていく若い力に
萩原さんがインタビューしました。



農林高校3年
斉藤 龍土さん

農大での連携授業では、先輩たちが優しく教えてくれます。知識も技術もある先輩たちの姿に、僕もこんなふうになりたいと夢が膨らみ、農大進学を決意しました。実家は非農家ですが、農大卒業後には、早川町で畑をしている祖母の跡を継ぎ、農地を広げながらジャガイモを中心に栽培していきたいです。



農林高校3年
桑原 理紗さん

植物を育てることが好きなので、農林高校に進学しました。一生懸命世話をすれば、立派な作物が収穫でき楽しい反面、天候が悪くても日々の手入れを怠ってはいけないなど、厳しい面も知りました。連携授業では、高校よりもさらに専門的なことまで丁寧に教えていただけるのでとても勉強になります。



トラクターに乗る小山さん。農大には練習コースがあり、農耕車の運転免許が取得できる



高校生に白菜の収穫方法を教える浅川さん



農業大学校
園芸学科2年
浅川 楓斗さん

農業の魅力は、自分が注いだ愛情に、野菜たちが応えてくれること。大きく味の良い作物が取れたときは、頑張った良かったなと思います。農大では、志を同じくする大切な仲間ができました。卒業後は実家で父と一緒に農業をやります。ここで学んだことを生かして、新しい品種や珍しい品種を取り入れるなど、時代に合わせた作物を育てていきたいですね。



農業大学校
園芸学科2年
小山愛実理さん

農大で学ぶことで、視野が広がり、夢が膨らんだ反面、自分が怠けると、すぐにその結果が出てしまう怖さも学びました。卒業後は野菜を作る傍ら、野菜ソムリエの取得に挑戦し、将来的には野菜をお菓子やジャムに加工して、野菜のおいしさをいろいろな形で伝えていきたいと考えています。

① スマートフォンまたはタブレットに「Layar」のARアプリをダウンロード(無料)② アプリを起動③ 右の写真に گذاした後、タップすると動画が再生されます。

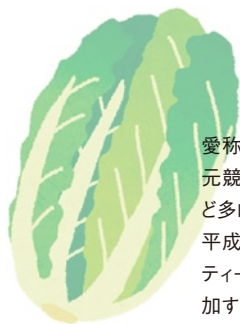


動画で見よう! ハギトモさんの農大レポート

「これから高校生と一緒に白菜を収穫します。まずは僕がやるので、まねしてください」。園芸学科2年の浅川さんは、慣れた手つきで高校生に収穫方法を教えています。萩原さんも大きな包丁を手に立派な白菜を収穫。うれしそうに両手で抱え上げました。収穫作業を終えた学生たちの顔には、光る汗が。その表情は、農耕者としての誇りと収穫の喜びで輝いていました。

やまなし大使

萩原智子さん Tomoko Hagiwara



愛称「ハギトモ」。1980年4月13日生まれ。甲府市出身。シドニーオリンピック出場、元競泳日本代表。現在は日本水泳連盟理事。テレビ出演や水泳教室、講演活動など多岐にわたる活動を行っている。

平成26年、記録的な大雪で被害を受けた山梨の農業を支援するため、復興チャリティーを立ち上げた。プロジェクト終了後も、山梨県のフルーツのトップセールスに参加するなど、日頃から山梨の農業を応援している。

農業はとつても
すてきな仕事
生き生きと
取り組む学生に
明るい未来を
感じました

若い人たちが生き生きと農業に取り組んでいる姿に、素直に感動しました。皆さん、本当に良い顔で、楽しそうに作業していましたね。その姿には未来への希望を感じましたし、「新しいことに挑戦したい」「農業を変えていきたい」と、目を輝かせながら話してくれるのを聞いてみると、私も頑張らなくちゃと、刺激をもらいました。

今日は見事な白菜も収穫させてもらいましたが、あの白菜、だいたい3キロあるそうですね。ちよつど、出生時の赤ちゃんくらい。だからというわけではないのですが、農業って、子育てと似ているように感じます。「愛情を注げば、野菜は応えてくれて良い物ができる。そこが魅力です」という学生さんの言葉が心に響き、すてきな仕事だとあらためて思いました。もちろん、そこには苦労や厳しさもあるのですが、山梨の農業には先人が培ってきた技術があるので、その継承者としての誇りを持つて、ぜひ夢をかなえてほしいです。

県立農業大学校では
山梨の農業を支える人材を育成しています
就農の入り口としての役割

農業従事者の高齢化に伴う担い手不足が全国的に問題となっており、山梨でもその育成は非常に大きな課題です。

本校では、2年間で農業生産および経営管理技術の基礎を習得する養成科、より高度な技術を習得する専攻科を設置しています。また、再就職先として就農を目指す方に向けた研修を行うなど就農の入り口としての役割を果たしています。

時代の流れに対応しながら 就農をサポート

今や農業は農家の子弟だけが継ぐ時代ではなく、農業生産法人へ就職して就農を目指す普通高校高校出身者が増えていますので、J Aなど関係機関と連携しつつ、就農



県立農業大学校
加藤 肇 副校長

をサポートする環境を整えています。また、カリキュラムに、農業現場への派遣研修を組み入れ、地域の農家と顔なじみになることで、スムーズな農地確保や、「農大の学生なら」と地域で受け入れてもらえる関係づくりを後押ししています。

農業を取り巻く状況は急速に変化しており、常に学ぶ姿勢が求められます。学生たちには、本校での学びや同級生とのつながりを土台に、山梨の農業を担う農業者として大きく羽ばたいてほしいと願っています。

専門学校 山梨県立農業大学校 平成28年度 入学生募集 後期一般入学試験を実施します。

試験日 2月16日(火)
出願期間 1月25日(月)~2月5日(金)
受験資格 高等学校または中等教育学校を卒業した者(平成28年3月卒業見込みの者を含む)など

試験内容
【養成科】国語総合(古文・漢文は除く)、数学I、面接、小論文
【専攻科】面接、小論文 など
※詳細はホームページでご確認ください。



北杜市長坂町長坂上条3251
TEL 0551-32-2269 FAX 0551-32-2034

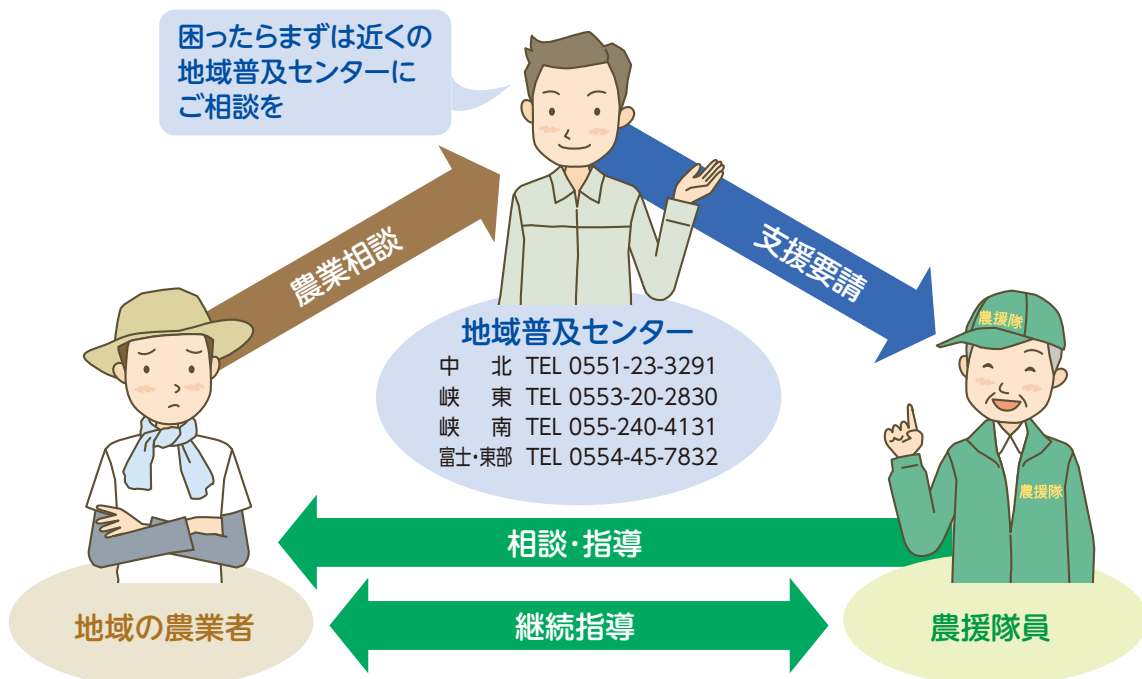
山梨農大

検索



農援隊を「活用」ください

農業をしてみたいけれど何から始めたらいいの？初めて育てる作物の手入れの方法が分からない。そつした声にお応えするため、県では、農業を始めたばかりの方や、自給的な農家の方などに、基礎的な技術指導や営農相談を行う「農援隊」を設立しました。



農援隊には、ベテランの農業者が集まっています。私自身は、農業改良普及の実務や果樹研究などに県職員として幅広く携わってきました。退職後は専業農家となり、以前から夢だったモデル的な果樹経営を実践する傍ら、若い人たちに技術や経営を教えたいという思いもあり、農業大学校や大学などで講師を務めたり研修生・新規就農者を受け入れたりしてきました。

初めて農業をするのは大変です。技術や資本などが必要ですし、教科書はあっても、その通りに育たないこともよくあります。ですから、今までの経験から得た知識や技術などを生かし、農援隊員として理論と技能をしっかり伝えていきたいと思っています。

山梨の農業の発展のために
 今まで培ってきた知識や技術を伝えます



農援隊員
 (峡東地域果樹栽培担当)
 丹沢 隆さん



農業は毎日が勉強
 経験豊富な
 農援隊の存在は
 ありがたいです

相談者
 穂原 敬さん

生家が農家なので、退職に当たり、農業に専従することにしました。実際、日進月歩で進んでいく農業に向き合ってみると、分からないことが次々と出てきました。今回、農援隊が設立されたことで、経験豊富な隊員から確かな技術や、これからの経営の指針になる事柄を教えてもらえるかと期待しています。

モモの苗木の植え付けについて
 丹沢さんから指導を受ける穂原さん





農地中間管理機構が農地の貸借を公的に仲介

農業を始めたい、経営規模を拡大したい、という農地を「借りたい」方と、規模を縮小したい、農地を相続したけれど耕作する人がいない、という「貸したい」方を、山梨県農地中間管理機構がつないでいます。

**農地は農業経営の基盤
信頼できる機構から借りることで
安心して農業に打ち込めます**

独立の際、大きな壁になるのが、どうやって農地を確保するかということ。実績や後ろ盾が無いと大変です。私の場合は、ありがたいことに農業委員さんの後押しもあって土地を借りることができましたが、その後、農地を拡大するまでには至りませんでした。

3年目を迎えた今年、農地中間管理機構に仲介してもらい農地を広げることができました。果樹は長期間での賃貸契約になりますから、公の機関に入ってもらうことで、契約上のトラブルが回避でき、基盤が安定するという期待感があります。また、万が一不測の事態が起きても、次の担い手を見つけてもらえるといった安心感もあります。実際、とても良い農地を借りることができ、感謝しています。

今後は、より生産性の高い畑を作るとともに、巨峰やピオーネなどの黒系の大玉品種を中心にしながら、真摯にやっていきたいと考えています。



三浦 誠さん・香穂子さん

就農を目指し、岩手県釜石市から家族で移住。農業生産法人での2年間の研修を経て、平成25年4月より独立。地元農家から借りた甲州市塩山の玉宮、千野の農地1町2反で営農している。

【問い合わせ先】 山梨県農地中間管理機構 TEL 055-232-2760 FAX 055-223-2117 [山梨 農地機構](#)



山梨の四季を通じた果樹農業を世界農業遺産に!

峡東地域の果樹栽培は、地域住民の生計や文化と密接に結び付き、桃源郷とも呼ばれる美しい農村景観を形成しています。

この農業システムを末永く保存し、地域の活性化を図っていくため、県は、山梨市、笛吹市、甲州市、関係団体と「峡東地域世界農業遺産推進協議会」を設立し、世界農業遺産への認定に向けた取り組みを進めています。

世界農業遺産

国連食糧農業機関(FAO)が認定。世界的に重要な農業システムを認定し、その保全と活用を目的とする国際的なプロジェクト。



ブドウ、モモをはじめとした、四季を通じた果樹農業が行われている峡東地域



【問い合わせ先】 農政総務課 TEL 055-223-1583 FAX 055-223-1585



新しいブランド農産物の育成を目指して

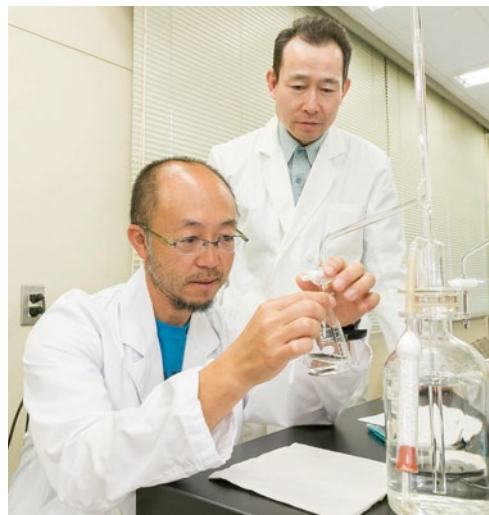
県では、食べやすさ、おいしさ、機能性成分の含有量など、消費者ニーズに対応するとともに、農家にとっても、作りやすく、収入増につながる、高品質なオリジナル品種の開発と普及を進め、農産物のブランド化に取り組んでいます。

長い年月を経て開発する新品种を産地のブランド化につなげたい

果樹試験場では、ブドウ、モモ、スモモ、サクランボの新品种開発に取り組んでいて、これまで20種類を超える品種を登録しました。最近、流通が始まったのが、平成25年に登録されたモモ『夢みずき』。大きく、赤く、甘みも強い、今注目の品種です。

モモの品種改良は、開花時期に他の品種の花粉で受粉させることから、毎年1500花ほどに受粉して、苗木にまで育つのは、そのうちの200花程度。それが3〜4年後に実をつけたところで、「大きさ」「甘さ」「色づき」「収穫時期」など特性を見極め、有望な物を選びさらに育てます。幾つものステップを経て新品种が登録されるのでとても時間がかかります。『夢みずき』は登録までに13年。平成23年に試験的に頒布された苗が、昨夏大きな実りをもたらし、市場で話題となり、やっと努力が報われたんです。

質の高い県オリジナル品種を開発することで、産地のブランド化につながることを期待できます。ですから、これからも農家や消費者のニーズを把握し、開発に取り組んでいきます。



果樹試験場育種部
新谷 勝広 主任研究員(左) 上野 俊人 部長(右)



果樹試験場が開発した県オリジナル品種「夢みずき」(右上)、「甲斐のくろまる」(左上)、「サマーエンジェル」(右下)、「富士あかね」(左下)

【問い合わせ先】 果樹試験場 TEL 0553-22-1921 FAX 0553-23-3814

山梨 果樹試験場

山梨のおいしい農産物を全国、そして世界の食卓へ

県では、「やまなしブランド」を確立し、恵まれた自然環境や高い技術により生み出される優れた農産物の販路を拡大するため、農業関係団体と連携して、国内外の小売業者・流通関係者などとの関係構築や、プロモーション活動を行っています。国内外において産地間競争が激しさを増す中で、今後も、消費者や販売者などのニーズを踏まえ、効果的な販売対策を展開していきます。



知事を筆頭に国内外でトップセールス

【問い合わせ先】 農産物販売戦略室 TEL 055-223-1603 FAX 055-223-1604

「森林環境税」を大切に活用しています。

豊かな森林資源を未来へ引き継ぐために



県産材で作った机や椅子を使っている小菅小学校

子どもたちの心を豊かにし 自然を大切にする想いに つながっていきます。

小菅村は山に囲まれているので、当たり前のように木が身近にありますが実際に木が机や椅子となり自分たちが使うことで、子どもたちは、改めてその良さに気付くようです。子どもたちには、木の温かみや優しさに触れることで、豊かな自然環境があることの大切さを感じ取ってほしいです。将来、自分たちがとても尊い物に囲まれて成長したことを誇りに思える時が、きっと来ると思います。



小菅村立小菅小学校 教諭
奥秋香さん



木とふれあう温もりある教育環境づくり

県産材を使用した学習用備品の導入を補助しています。

本県は、県土面積の約8割を森林が占める全国有数の森林県です。森林は、水源の涵養、土砂災害防止、二酸化炭素の吸収など、私たちの生活にさまざまな恩恵をもたらしています。

この貴重な財産「森林」を未来に引き継ぐために、平成24年度から県民の皆さんに年額500円のご協力をいただいている森林環境税を、さまざまな事業に活用しています。

〔H26年度実績〕

- 導入校 3校/机・椅子166組
- 森林環境税 299万円

赤尾保育園の園児たち。
キープ自然学校で、森林体験



赤尾保育園(甲州市)園長
雨宮 美鈴 さん

自然と直にふれあうことで 創造力が育まれます。

幼児期には、実体験がとても大切です。レンジャーさんと一緒に森の中を探検することで、子どもたちは自然に触れ、遊びを見つけていきます。自然環境の中で発見した物事を発展させていく創造力が、どんどん引き出されていくのを感じます。森で楽しんだことを家庭で話し、子から親へ自然の素晴らしさを発信してくれることにも期待しています。



自然の中に身を置くことで、命の多様性や大切さを感じてもらいたいです
キープ自然学校 レンジャー
蛭町 香那さん(左)
坂上 秋津さん(右)



森の中で拾った落ち葉を
レンジャーさんと一緒に並べます

森林の持つ役割を学ぶ環境づくり
教育機関などが行う森林体験活動や民間団体が行う森林整備活動へ助成しています。

(H26年度実績)
■活動団体数及び事業
18教育機関等+7団体
事業効果検証モニタ
リング調査
■森林環境税
424万円

森林整備の作業は山の中で行われているため、なかなか皆さんの目には届きません。そこで森林環境税がどのように利用されているのか、納税者である県民の皆さんが実感できる機会として、見学会を開催しています。山梨の森林の健全な姿を守り、子どもやその次の世代にまで、しっかりと引き継いでいくことの大切さを、見学会を通して感じていただきたいと思っています。

森林には地球温暖化の防止や、豊かな水を蓄え供給する働きなど、多様な機能があり、私たちの毎日の暮らしは森林から多くの恩恵を受けています。しかし、森林が荒れてくると、その機能が低下してしまいます。そこで森林を適正に整備・保全するために平成24年度から森林環境税を導入させていただきました。



森林環境部
藤原 さつき
政策企画監

健全な森林を未来に引き継ぐための森づくり
荒廃した民有林の間伐や、長期間放置された里山などの再生を行っています。

(H26年度実績)
■森林整備面積
1,202ha
■森林環境税
4億1,400万円



笛吹市境川町で行われた森林整備の見学会
参加者は、伐採作業を間近で見学したり、どのような木を伐採し健全な森づくりを行っているかなどの説明を作業員から聞いたりしました。



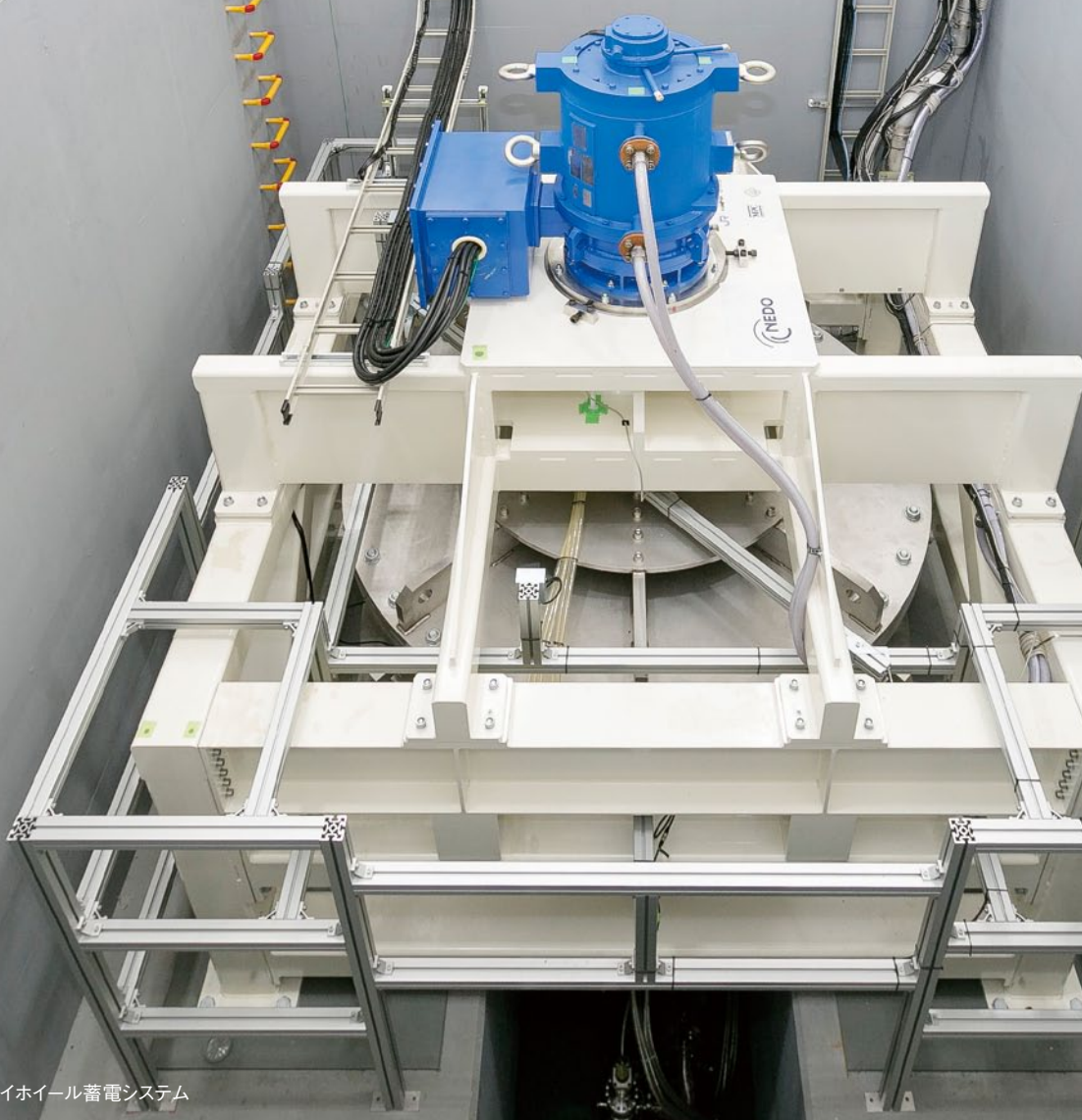
【問い合わせ先】森林環境総務課 TEL 055-223-1634 FAX 055-223-1636

山梨 森林環境税

検索

世界初

リニア技術を応用した フライホイール蓄電システム始動



次世代フライホイール蓄電システム



実証試験施設完成式で、フライホイール蓄電システムの起動ボタンを押す後藤知事(中央)ら



平成21年に県と東京電力(株)が共同事業で米倉山に建設した1万キロワットの発電所。当時、内陸部国内最大規模で、メガソーラー時代の先駆けとなった

エネルギーの地産地消の実現に向け、再生可能エネルギーの導入を進めている本県では、自然条件により不安定になる太陽光発電の安定供給を目指し、次世代フライホイール蓄電システムと組み合わせた実証試験を米倉山太陽光発電所で開始しました。

①スマートフォンまたはタブレットに「Layar」のARアプリをダウンロード(無料)②アプリを起動③右の写真にかざした後、タップすると動画が再生されます。

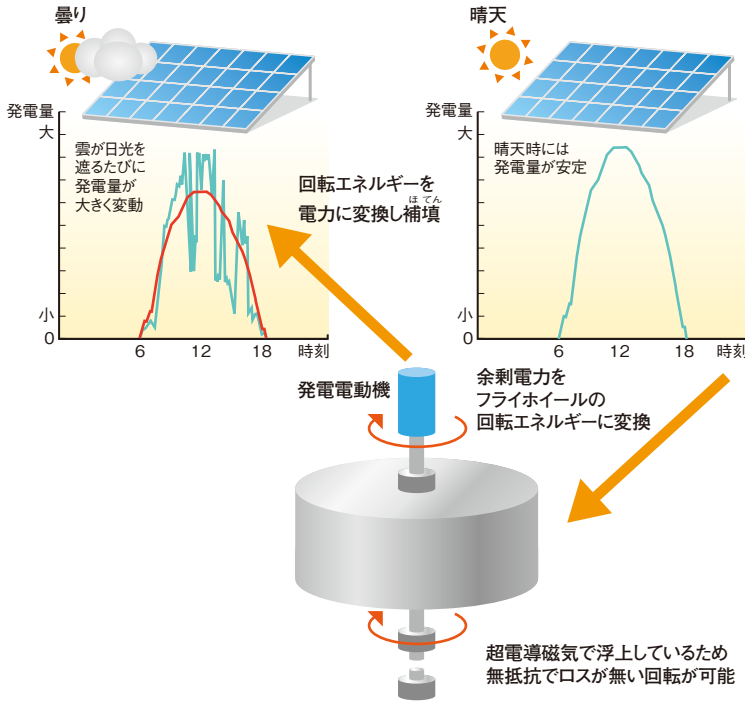


動画で見よう! 次世代フライホイール蓄電システム

再生可能エネルギーの大量普及時代に向けて 必要となる効率的な蓄電システム

蓄電システムは、なぜ必要？

太陽光発電などの再生可能エネルギーは、エネルギーの地産地消を目指す上で重要な役割を担っていますが自然条件によって発電量が変動する不安定さを解消することが課題です。これを補い安定した電力を供給するためには、電力を平滑化させる蓄電システムが必要になります。



企業局電気課
堀内 伸一 主査

次世代フライホイール蓄電システムの仕組みは？

山梨県は、平成24年から、(公財)鉄道総合技術研究所、民間企業3社と共同で、リニアモーター

カーの超電導技術を採用した世界で初となる次世代フライホイール蓄電システムの研究を進めてきました。この蓄電システムは、余った電力をフライホイールの回転エネルギーに変換して蓄えておき、電力が不足した際には、回転エネルギーを電力に再変換することで電力の平滑化を図ります。

つまり、不安定な自然条件に対応しながら、電力を蓄電・放電することができます。

他の蓄電システムと比べてどんな特徴が？

最もよく使われている蓄電システムであるバッテリー(二次電池)よりも、耐久性があるので、大電力を繰り返し蓄電・放電できます。また、有害廃棄物や希少元素を含みません。



ゆめソーラー館やまなしで展示している次世代フライホイール蓄電システムの模型

システムが普及することによって期待できることは？

米倉山太陽光発電所は、次世代フライホイール蓄電システムの研究拠点として、これに関わる技術が集結しています。今後、蓄電技術が向上すれば、再生可能エネルギーが普及しやすくなります。また将来的には、エネルギー関連企業を誘致する

ことで、新産業の集積や創出も期待できます。

次世代フライホイールの仕組み模型を使って学んでみよう！

米倉山太陽光発電所に併設している次世代エネルギー情報発信拠点「ゆめソーラー館やまなし」では、次世代フライホイールの仕組みを多くの方々に知っていただくため、模型を展示しています。模型のスタートボタンを押すと、超電導でフライホイールが浮上し蓄電・放電する仕組みを視覚的に理解することができます。

また、発電所敷地内には遊歩道やメガソーラーを一望できる展望台もあります。ぜひ、見学にいらしてください。

ゆめソーラー館やまなし



開館時間 9時30分~16時30分(入館は16時まで)
休館日 月曜日(祝日は除く) 祝日の翌日 年末年始
入館料 無料
甲府市下向山町3443-1 TEL 055-269-6685



健康科学大生としての 誇りを胸に 日々の学びを地域に還元

vol. ⑦
健康科学大学

ストレッチ・マッサージ
提供ボランティアとして
ランナーをサポート

健康科学大学では、医療・保健・福祉の分野において、高度化・多様化するニーズに対応できる人材の育成を目指しています。「トレーナークラブ」には理学療法士を目指す学生を中心に約60人が在籍。彼らは、スポーツ大会でのストレッチ・マッサージ提供、高齢者・子どもへの運動指導、東日本大震災の被災地支援など、幅広いボランティア活動を自主的に企画・実行しています。

10月25日に開催された第6回富士・鳴沢紅葉ロードレース大会では、会場にストレッチ・マッサージブースを開設。笑



毎年大勢のランナーが参加する富士・鳴沢紅葉ロードレース大会。トレーナークラブが開設したブースも盛況で、次々と利用者が訪れた





**地域と関わり
成長できていることに
感謝しています**

健康科学部
理学療法学科4年
部長 宮澤 啓太さん

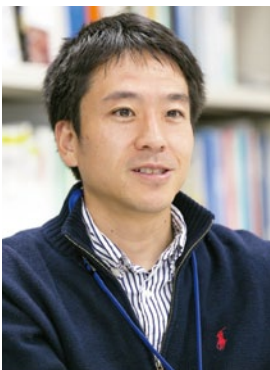
僕は将来、理学療法士としてスポーツに関わっていきたいと思っています。ですから、地域の皆様のご理解とご協力の下、さまざまな経験を積めることに感謝しています。先輩方や、地域の人たちと関わる中で、人とのつながりの大切さも学びました。今、地域貢献や被災地支援に関わられていることを誇らしく思っています。



**深めた学びを生かし
地域医療に
貢献していきたい**

健康科学部
理学療法学科4年
渡邊 幸美さん

トレイルランニングの大会でランナーさんに接する先輩の姿に憧れ、その姿が自分の目標となりました。歴代の先輩方の実績があって、今、私たちが地域で活動できています。活動を通して、現場に出るときに必要な社会性を養うことができたように思います。これからさらに学びを深め、卒業後は地域医療に貢献していきたいです。



**実践的な学びを重ね
リーダーとなれる
人材へと
成長してほしい**

健康科学部
理学療法学科
成田 崇矢 教授

学生が夢中になり誇りを持てる活動を、と思いトレーナークラブを設立しました。何も無いところから始め、最初は手取り足取り指導していましたが、設立から7年がたち、今では先輩が後輩を指導し、学生たちが自主的にクラブを運営しています。学生には頭でっかちにならず、知識を得るとともに、さまざまな経験を積んでほしいです。その経験から学び、自信や誇りにつなげてくれることに期待しています。

【問い合わせ先】

健康科学大学
TEL 0555-83-5200(代表) FAX 0555-83-5100

健康科学大学



顔でランナーと言葉を交わしながら手際良くケアを行っていました。利用者からは「体の準備が整い、頑張れそう」という声がありました。また、学生たちが積極的に地域と関わろうとする姿勢は、大会主催者の鳴沢村からも歓迎されているそうです。

彼らは、日々の授業や勉強会、トレーニングなどで得た知識と技術を地域で役立てています。そうして多くの人とふれあい、経験を積むことで、さらに自身の学びを深めています。「たくさんのランナーさんに利用していただき、やりがいを感じています」。雄大にそびえ立つ富士山の麓に、今後のさらなる成長と活躍を予感させる、学生たちの姿がありました。





[シュン!]

瞬

やまなしの

vol. 7

in 市川三郷町

美しい桑の郷を蘇らせ
世界に発信していきたい

桑の葉茶製造 桑郷
ハン・ソンミンさん



健康茶としても人気のある桑の葉茶。
2013年、フィリピンバンバング国立農業大学と提携。翌年からは現地での桑栽培と茶葉の製造を開始。中国進出の計画も進行するなど、その視野は世界へと広がっている



二人三脚で桑の葉茶の魅力をPRするハンさん夫妻。「自分のような激しい男を信じ、いつも笑顔でサポートしてくれる妻。彼女がいなかったら、今の自分はありません」と感謝を忘れない



全てが手探りの中で 懸命に奔走した日々

葉が大きく肉厚で病害虫にも強い「二瀬桑」発祥の地として知られる市川三郷町。かつては青々とした桑畑が町中にも広がっていましたが、養蚕業の衰退とともにその美しい風景は姿を消し、耕作放棄地が目立ち始めました。「美しい桑の郷を蘇らせたい」との熱い思いを胸に、桑畑の復興に取り組んでいるのが、韓国出身のハン・ソンミンさんです。

2004年に来日し、この地域の美しい自然に魅せられたハンさん。桑の葉茶の開発と製造を行っていた義父の事業を受け継ぐ形で、2008年、妻の三貴さんと共に株式会社 桑郷を設立しました。「最初は販路も無く、どうすればいいのかと2人で頭を抱える毎日でした。でも、私はじつとしてるのが苦手。とにかくやるんだと」。祖国との文化の違いに戸惑い、見えない壁を感じることもありましたが、三貴さん手書きのチラシを県内中に配り回るなど、地道な活動を続けるうち、応援してくれる人が少しずつ増え、やがて地域に受け入れられるようになっていきました。

「農業は初めてでしたが、体力だけは自信があった。地域の方に教えてもらいながら、桑の栽培から収穫まで無事にこなすことができました」。懸命に働く姿が信頼を呼び、管理を任される畑が増えていったとハンさん。2013年には、地域の方をはじめ多くの仲間の支援の下、荒廃していた耕作放棄地に2万本の桑を植えるプロジェクトを完遂。今では、6ヶ所の畑で4万6千本を栽培し、会社は従業員を雇用できるまでに成長しました。

夢に向かって 挑戦はまだまだ続く

「私はこの町が、誰もが行ってみたいような場所に、そして来た人には、行って良かった、元気をもらい生きていく活力が湧いてきた、と言われる場所になればと願っています。そのためにも、もっと桑を植えて、ここを『桑の郷』にしたいんです。目標は、2018年までに10万本植えること。そして、私自身が一生懸命に取り組んでいる姿を通して、日本はもちろん、世界中に、市川三郷町は元気ですよ、こんなにも熱いんですよと発信していきたいとも考えています」。まだまだ夢の途中と、大きな体で高らかに笑うハンさん。その声は、決意と希望に満ちていました。

ワイン産業の基盤を築いた

高野正誠

1852-
1923



(甲州市提供)

伝習生としてフランスに渡り
ワイン醸造を学んだ高野正誠。
帰国後、日本初の本格ワインを醸造した。
後にブドウ栽培法やワイン醸造法を
『葡萄三説』としてまとめ
日本のワイン産業の基盤を築いた。



留学先のフランスでブドウを剪定する高野正誠(左)と土屋龍憲(右) (甲州市提供)



『葡萄三説』と巻頭の挿絵
(甲州市立勝沼図書館所蔵)



伝習生としてフランスへ

高野正誠まさなりは、1852(嘉永5)年、八代郡上岩崎村(後の祝村、現・甲州市勝沼町)に、神官・高野正吉の嫡男として生まれた。

1877(明治10)年春、県営の葡萄酒醸造所や勸業製糸場を造り殖産興業を推し進めていた当時の県令・藤村紫朗は、祝村に、葡萄酒醸造会社を設立し、資金を集め、青年2人を推挙すれば、フランスに派遣する旨を通達した。祝村は協議の末、受諾。豪農や地主などが発起人となって出資を募り、同年8月に大日本山梨葡萄酒会社(通称・祝村葡萄酒醸造会社)を設立。株主に名を連ねていた正誠は、選挙によって土屋助次朗(後の龍憲)とともに伝習生に選ばれ、同年10月、フランス船タニス号で横浜港を起航。この時、1年でブドウ栽培とワイン醸造の技術を習得し、醸造器具の使用方法を学ぶことが2人の任務とされていた。

ブドウ栽培とワイン醸造の技術と知識を習得

翌年開催されるパリ万博の事務官長として一緒に渡仏した前田正名(後の山梨県知事)は、2人にパリの知人宅

で約1カ月間フランス語を学ばせ、その後、自身が懇意にしていたシャンパーニュ地方の街・トロワの植物学者であり苗木商でもあったシャルル・バルテに預けた。正誠らはそこで、もう一人、ブドウ栽培とワイン醸造研究の実務者ピエール・デュポンを紹介され、両氏から教えるを受けることとなった。

ブドウの剪定せんてい、挿し木法、品種改良をする際の接ぎ木法、摘果、収穫法などの実技と、品種の研究や生食用と醸造用の本質的な違いといった理論を並行して学び、昼は作業、夜は詳細なリポートの作成と、寸暇を惜しんで研修を重ねた。当初の帰国予定は9月だったが、ワイン醸造が始まる前の帰国はあまりにも無念だと考えた2人は、留学延長を願い出た。結果、延長分の経費は自己負担ではあったが、半年間の猶予が与えられ、仕込みから貯蔵法、新酒の蔵出しまでの一通りの過程に加え、シャンパンや他の果実酒、ビールの醸造法をも学ぶことができた。

日本初の本格ワインを醸造

1879(明治12)年5月、帰国した2人は、故郷へ戻ると早速準備に取り掛かり、この年の秋、甲州ブドウを使った赤ワインと、山ブドウを使った赤ワ



日本最古のワイン(甲州市・宮光園)

インを醸造。当時、日本ではワインの発酵に麴を用いていたが、帰国の翌年には、麴を用いない本格ワインを醸造した。また、正誠は醸造技師としてワイン生産に務める傍ら、自宅の蚕室を改造し、ワイン醸造の研究や全国から醸造を学びに集まる門下生の教育にも取り組んだ。さらに、大日本山梨葡萄酒会社が瓦解がいかする1886(明治

19)年ごろからは、広大なブドウ園で栽培から醸造まで行う欧州的なブドウ園経営の必要性を説き、自らもその実現を目指すようになっていく。

ブドウ栽培の技術と醸造法の伝授にまい進

1890(明治23)年12月、フランスで学んだ栽培技術や醸造法の詳細とともに、ブドウ園経営にも言及した400ページ超の大作『葡萄酒三説』を刊行。全国各地で講演を行い、後進の醸造家を育成するなど、黎明期れいめいにあったワイン醸造の発展に力を尽くした。こうしてワイン産業の基盤を築いた正誠は、1923(大正12)年、71歳の生涯を閉じた。



山梨近代人物館

山梨県庁舎別館2階(甲州市丸の内1-6-1)

開館時間: 午前9時~午後5時

休館日: 第2・4火曜日/年末年始

入館料: 無料

TEL 055-231-0988 FAX 055-231-0991

〈記事監修〉山梨大学名誉教授 齋藤康彦



本県出身者初のノーベル賞受賞 大村智さんに「特別文化功績者」を授与

2

015年ノーベル生理学・医学賞の受賞が決定した北里大学特別荣誉教授 大村智さんに、県では「特別文化功績者」を授与しました。これは本県出身者初のノーベル賞受賞決定を受け、新たに創設した表彰制度で、文化人に授与する賞としては最上位に当たります。

10月26日、山梨県庁舎別館・正庁で行った表彰式で、後藤知事は「県民の誉れである大村先生を特別文化功績者として表彰することは県民一同、大変光栄なことである」とあいさつし、大村さんに表彰状を贈りました。

さらに、12月定例県議会で「名誉県民」の称号を贈ることが決定しました。



大勢の県職員に迎えられる大村さん



正庁で特別文化功績者表彰式を行い、後藤知事が表彰状を贈呈

〔略歴〕

- 1935年 葦崎市で生まれる
- 1954年 山梨県立葦崎高等学校卒業
- 1958年 山梨大学学芸学部自然科学学科卒業
- 1963年 東京都立墨田工業高等学校教諭採用
- 1965年 東京理科大学大学院理学研究科修士課程修了
- 1971年 山梨大学文部教官助手
- 1990年 米田ウエスレーン大学客員教授
- 1992年 山梨大学文部教官助手
- 1999年 紺綬褒章
- 2001年 山梨県政特別功績者
- 2002年 山梨県総合理工学研究機構総長
- 2005年 北里大学名誉教授
- 2007年 山梨県立北里研究所名誉理事長
- 2008年 山梨県立北里研究所名誉理事長
- 2009年 山梨県立山梨科学アカデミー会長
- 2011年 瑞宝重光章
- 2012年 文化功労者
- 2013年 北里大学特別荣誉教授
- 2015年 公益社団法人山梨科学アカデミー名誉会長
- 学校法人女子美術大学名誉理事長
- 文化勲章
- ノーベル生理学・医学賞

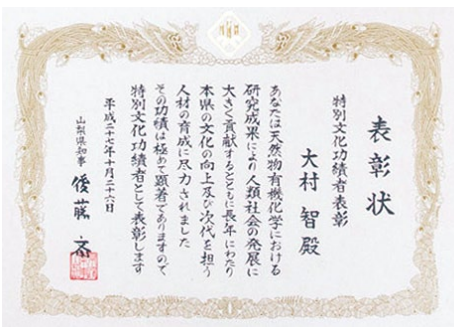


大村さんの来庁の際に、歓迎の気持ちを伝えようと職員が制作した似顔絵。ご本人に好評で持ち帰っていただきました。

〔研究功績〕

50年にわたり抗生物質など微生物が生産する天然有機化合物の研究を続け、約500種の新規化合物を発見。そのうち26種が医薬、動物薬、農薬および研究用試薬として世界中で使われています。

特にイベルメクチンは、重篤な熱帯病であるオンコセルカ症(河川盲目症)とリンパ系フィラリア症を撲滅するためにアフリカで年間約3億人に使われ前者は2025年、後者は2020年に撲滅の見通しとされるなど、人類の健康と福祉の向上に多大な貢献をしています。



【問い合わせ先】 秘書課 TEL 055-223-1301 FAX 055-223-1303
企画課 TEL 055-223-1312 FAX 055-223-1320

山梨県 大村先生

検索



山梨県の職員数・給与のあらまし

平

成27年4月1日現在、1万3千人余りの職員が、県民生活と密接に関わる仕事に携わっています。福祉・保健、環境、産業振興、基盤整備などの一般行政部門をはじめ、県立高校や市町村立小・中学校、警察など、県のさまざまな分野で働く職員の数や給与の状況をお知らせします。

職員数の状況

行政改革大綱に基づき、平成23年4月1日までに組織や事務・事業の見直しなどを行い、職員数の削減に取り組みました。平成27年4月1日現在、総職員数は前年比70人減の1万3125人となっています。

給与などの状況

職員の給与は、県内の民間企業における従業員の給与、生計費、国や他の都道府県における職員の給与などを調査・研究した人事委員会からの報告と勧告を踏まえ、県議会の審議を経て、条例で定められています。

平成26年4月1日現在の一般行政職の給料は、国家公務員の水準を100とした場合、100.3となっていて47都道府県中18位です。

平成26年度普通会計決算における人件費の歳出額は115.5億円で、歳出全体の24.5%となっています。

本県では、職員の給与をより民間賃金の実態に即したものとするため、平成27年4月1日から、給料表の水準を平均2%引き下げることが柱とする給与制度の総合的見直しを、国と同様に実施しています。

●年度別部門別職員数

(各年4月1日現在) (単位:人)

区分	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
総職員数		15,339	15,166	14,991	14,746	14,548	13,505	13,337	13,277	13,198	13,195	13,125
一般行政		3,501	3,452	3,340	3,205	3,104	3,082	3,043	3,038	3,055	3,044	3,054
教育		8,943	8,796	8,749	8,650	8,559	8,389	8,267	8,201	8,113	8,114	8,019
警察		1,879	1,905	1,916	1,911	1,909	1,925	1,918	1,932	1,924	1,930	1,945
公営企業		1,016	1,013	986	980	976	109	109	106	106	107	107

●特別職の給料月額などの状況

(平成27年4月1日現在)

区分	給料・報酬
知事	1,250,000円
副知事	960,000円
議長	910,000円
副議長	820,000円
議員	770,000円

●初任給の状況

(平成27年4月1日現在)

区分	給料
一般行政職	大学卒 180,800円
	高校卒 146,500円
小・中学校教育職	201,900円
高等学校教育職	201,900円
警察職	大学卒 206,800円
	高校卒 174,300円

●平均給料月額および平均年齢の状況

(平成27年4月1日現在)

一般行政職	平均年齢43.2歳	339,389円
小・中学校教育職	平均年齢44.9歳	375,464円
高等学校教育職	平均年齢44.0歳	378,648円
警察職	平均年齢38.2歳	318,228円

【問い合わせ先】 人事課 ・職員数について TEL 055-223-1372
 ・給与について TEL 055-223-1373

FAX 055-223-1379

山梨 人事課

検索

オリジナル商品を通じて 織物産地を東京でPR

自

社ブランドの商品を開発、販売している郡内地域の繊維業者12社により平成24年に結成されたグループ「ヤマナシハタオリトラベル」は、自社ブランド製品を通じて産地の魅力を伝えるプロモーション活動を展開しています。

10月には、県が主催する産地PR事業の一環として、東京・青山で期間限定の展示・販売を行いました。来場者は、伝統の技術を生かしながらも現代風にデザインされた傘、ストール、ネクタイ、リネン雑貨などを手に取り、商品の特徴や斬新さを実感していました。



形と色の重なりが楽しめる、幾何学模様でデザインされた傘

友好県省締結30周年を機に より深い交流関係を築く

本

県と中国・四川省は、昭和60年に友好県省を締結して以来、教育、文化、スポーツなど幅広い分野で活発な交流を行っています。10月には、四川省からの友好訪問団を迎え、30周年記念式典を開催しました。

式典では、未来を担う青少年同士の交流の機会を増やし相互に理解と信頼を深めること、観光や農業、経済、教育などの分野でも互恵関係を強化し良き未来をつくり上げること、両県省間でハイレベルな交流を積極的に深めていくことなどを確認しました。



県省間のより深い交流を確認した曲木史哈副省長(右から3番目)と後藤知事

「輝く女性応援会議 in 山梨」 女性が輝く社会の実現に向け開催

「輝

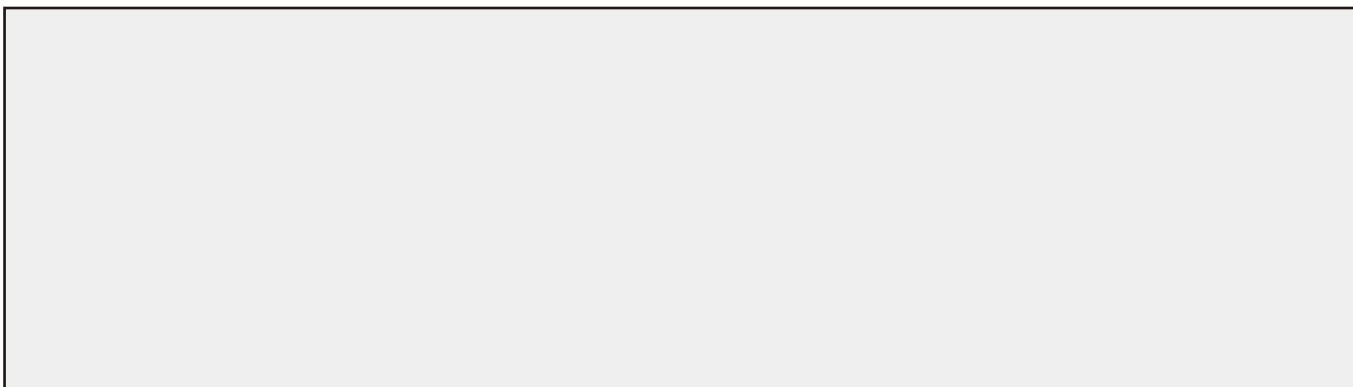
く女性応援会議」は、女性が活躍できる社会づくりの機運を高めるため、内閣府と地方自治体が協力し、昨年度から全国で順次、開催されました。

10月には、山梨県が会場となり「地域力×女性力＝無限大の未来」をテーマに各地域で活躍する女性と、女性の活躍を応援する各界リーダーによるパネルディスカッションが行われました。また、内閣府の武川恵子男女共同参画局長による「すべての女性が輝く社会を目指して」と題した基調講演に、多くの来場者が熱心に耳を傾けていました。



日頃の活動から得た視点で意見交換するパネリストたち

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。



経済成長が著しいインドネシアでトップセールス

後 藤知事は、11月21～24日、観光産業、学術・文化など、多分野で本県と交流を深めているインドネシアを訪問し、トップセールスを行いました。

日伊観光交流拡大シンポジウムでは本県の魅力やインドネシアとの新たな交流事業などについてプレゼンテーションを行いました。また、本県とジョグジャカルタ特別州との交流促進を目的とした友好交流協定を締結しました。

さらに、現地富裕層が中心メンバーになり設立された山梨県産ワイン・日本酒などの愛好会「ヤマナシ・ハッピークラブ」との意見交換会に出席するなど、官民横断的に山梨をPRしました。



協定書にサインをし握手を交わす、ジョグジャカルタ特別州投資調整庁長官トック氏と後藤知事

ふれあいアンケート&読者プレゼント

今回のプレゼント

なごみ
上煎茶



抽選で**10名**の方に!



「やまなし美味しい甲斐」のホームページで通販もご利用いただけます。

美味しい甲斐

検索

アンケート

問1:今号の中で最も関心を持った内容は?

問2:「大村智さんに特別文化功績者を授与」(P18)をご覧になった感想や、大村さんとのエピソードなどをお聞かせください。

※頂いたご意見の一部は、春号で紹介させていただきます。

応募方法

アンケートの回答と、次の①～⑤をご記入の上、はがき、電子メール、ファクスのいずれかの方法でご応募ください。

①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④年齢・性別 ⑤電話番号

応募先

山梨県広聴広報課「ふれあい読者プレゼント」係

はがき:〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1

電子メール:koucho@pref.yamanashi.lg.jp

(件名に「ふれあいプレゼント」と入力)

ファクス:055-223-1525

締め切り

1月31日(日)(当日消印有効)

商品の発送をもって、当選発表に代えさせていただきます。

個人情報、商品の発送のみに使用します。

結果発表! 「山梨の冬」あなたのイチオシ

秋号のアンケートに寄せられたご意見の一部を紹介します。

食べ物

最も多かったのは、山梨県の郷土料理ほうとう。「野菜をたっぷり入れた“ほうとう”は、栄養抜群」(北杜市・60代女性)。「干し柿。甲州のからっ風に吹かれておいしく出来ます」(笛吹市・50代女性)。その他では、富士川町十谷地区のみみ料理、吉田のうどん、小菅村のおやきなど。

スポット

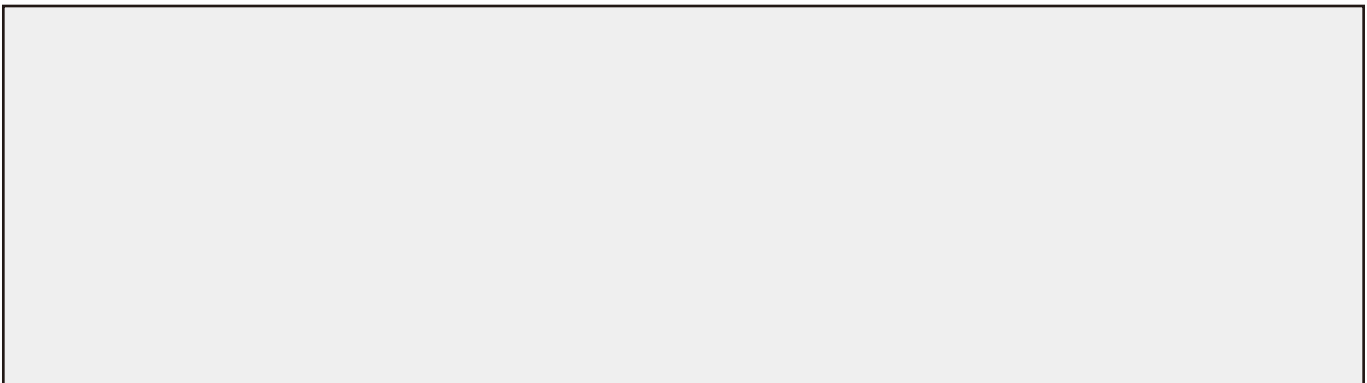
「雪をかぶった富士山」(甲斐市・60代女性)。「富士山と忍野八海」(上野原市・60代男性)。「フルーツ公園からの夜景」(大月市・40代女性)。「風土記の丘公園から見る夕焼け」(甲府市・50代女性)。その他では、千代田湖周辺、温泉、県立美術館で芸術鑑賞など。

冬の風物詩

ダイヤモンド富士、スキーなど。



ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。



あそびの広場お年玉企画

第1弾 実物大恐竜バルーントリケラトプス
～HAPPY NEW DINO YEAR!～

第2弾 DINO-A-LIVE × “恐竜くん”
～世界初! 自立歩行恐竜による驚異のライブショー～

恐竜をテーマに、2つのお年玉企画を開催! 第1弾は、実物大恐竜バルーンが登場。恐竜の大きさを体感できます。また、各日先着200人に来場記念DINOバッジをプレゼントします。第2弾は、日本初の恐竜専門のサイエンス・コミュニケーター“恐竜くん”とリアルに動く恐竜がコラボしたライブショーです。

開催日時 / 第1弾:1月4日(月)～8日(金) 9:30～17:00(最終日は15:30まで)
第2弾:1月9日(土)～11日(月・祝) ※整理券が必要
整理券は開館と同時に発行します。公演時間については、お問い合わせください。
観覧料 / 入館料だけでご覧になれます。



リアル恐竜「アロサウルス」
体験ライブショー



全長7.5メートルの恐竜バルーン「トリケラトプス」

ジュエリーミュージアム

甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階やまなしプラザ内
TEL 055-223-1570 FAX 055-223-1572

企画展

Koo-fu コレクション 2016

9回目となるKoo-fu コレクション新作発表会を開催します。今回のテーマは「スプラッシュ」。Koo-fuのブランドテーマである「自然で繊細な優美」を昇華させた美しいコレクションの数々をぜひご覧ください。

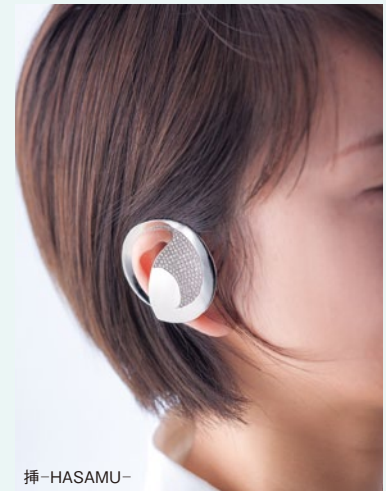
《Koo-fuとは》

ジュエリーの街「山梨」から発信する産地ブランド。産地の特性を生かした質の高い素材技術・デザインで製品を作り、ものづくりの姿勢や意識を「価値」として発信しています。

開催期間 / 2月27日(土)～3月7日(月)
観覧料 / 無料



創造と想像



挿-HASAMU-

※写真は「Koo-fu コレクション 2015」より

富士山科学研究所

富士吉田市上吉田字剣丸尾5597-1
TEL 0555-72-6203
FAX 0555-72-6183

企画展 ー冬から初春ー

富士山は今も活動を続ける火山であり、多様な植物や動物の生息地でもあります。今回は、冬から初春にかけての富士山の植物や、火山にスポットを当てた展示です。写真や岩石などの展示に加え、火山灰を顕微鏡で観察することもできます。



大室山 溶岩



宝永火口 火山弾

開催期間 / ～2月23日(火)
観覧料 / 無料

県立考古博物館

甲府市下曾根町923
TEL 055-266-3881
FAX 055-266-3882

第13回 わたしたちの研究室・研究成果展示会

小中学生が夏休みの自由研究などで取り組んだ山梨の歴史・考古学に関する研究成果を紹介。自由な発想で子どもたちが研究した成果をご覧ください。



第12回団体部門最優秀賞
「百々遺跡マップ」(一部)
制作:南アルプス市立白根百田小学校
6年生の皆さん

開催期間 / 2月9日(火)～3月6日(日)
観覧料 / 無料

県立博物館

笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055-261-2631 FAX 055-261-2632

シンボル展 天の虫のおきみやげ -山梨の養蚕信仰-

蚕を育て、絹(シルク)の原料となる繭を収穫する養蚕は、古くから重要ななりわいの一つでした。

山梨もかつては全国有数の養蚕地帯であり、養蚕業とともに育まれた生活文化の一部は今もなお受け継がれています。

今回は養蚕にまつわる信仰に焦点を当て、蚕と先人が残した文化を紹介します。蚕と暮らしたころの人々の心に触れてみてください。

開催期間 / ~2月29日(月)
観覧料 / 一般 510円 大学生 210円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



甲斐絹の白無垢
(山梨県立博物館蔵)



「蠶養之全圖 第三」
(東京農工大学科学博物館蔵 1/10~1/29展示)

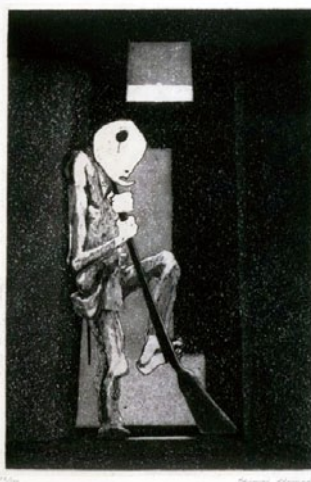
県立美術館

甲府市貢川1-4-27
TEL 055-228-3322 FAX 055-228-3324

コレクション企画展 -命をめぐる物語-

戦後70年を振り返りながら、命をテーマに「戦争と平和」「生と死」「愛と祈り」「戦争と画家」という、4つの章立てにより約90点の作品を紹介します。当館所蔵の浜田知明の《初年兵哀歌》シリーズや、ケーテ・コルヴィッツの《鎌を磨ぐ》などの貴重な銅版画に加え、愛をテーマに描いた葦崎大村美術館所蔵の荻太郎の《母と子の作品》などを展示します。

開催期間 / 1月26日(火)~3月6日(日)
観覧料 / 一般510円 大学生210円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



浜田知明《初年兵哀歌(歩哨)》1954年
エッチング・アクアチント



荻太郎《母と子の作品》2006年 油彩・麻

県立文学館

甲府市貢川1-5-35
TEL 055-235-8080 FAX 055-226-9032

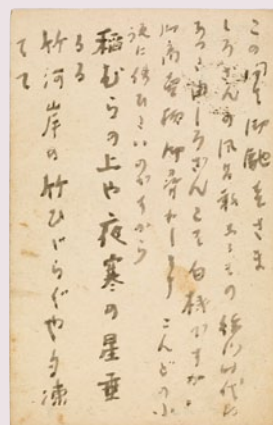
新収蔵品展 お宝そろいぐみ 谷崎潤一郎・芥川龍之介・村岡花子・山本周五郎・太宰治ほか

谷崎潤一郎が山梨市出身の編集者 石井秀平に宛てた手紙、芥川龍之介が自作の俳句を書いたはがき、村岡花子が翻訳について執筆した随筆原稿、山本周五郎の短編小説の代表作「おさん」の原稿、太宰治の単行本に関する手紙など、新たに収蔵した資料約80点を展示します。それぞれの個性が際立つ直筆の魅力をお楽しみください。

開催期間 / 1月23日(土)~3月21日(月)
観覧料 / 無料



山本周五郎「おさん」原稿



芥川龍之介が小島政二郎に宛てたはがき

やまなしの おもてなし 「レシピ」7



大塚にんじんの ヘルシーハンバーグ

市川三郷町大塚地区の肥沃な土壌で育った「大塚にんじん」。その豊かな味わいに枯露柿の素朴な甘さを加えて、ハンバーグのソースにしました。冬の食卓を明るく彩る一皿です。

【材料】(4人分) 1人当たりの食塩相当量1.6g※1

- 大塚にんじんソース
- 大塚にんじん80g
 - 枯露柿.....1個
 - 水.....カップ1
 - 鶏がらスープの素.....小さじ1.5
 - 塩.....少々
 - 鶏ひき肉.....200g
 - 木綿豆腐.....150g
 - 卵.....1個
 - しょうが.....小さじ0.5
 - 塩.....小さじ1
 - こしょう.....少々
 - スライスした大塚にんじん.....適量
 - マヨネーズ.....適量
 - クレソン、ピンクペッパー、たくあん.....適量
- ※1 国の基準では男性8.0g/日、女性7.0g/日未満が目標量です

【作り方】

- ①まず大塚にんじんソースを作る。大塚にんじんは皮をむいてすりおろし、枯露柿は細切れにする。
- ②鍋を中火にかけ、水、鶏がらスープの素、①を入れる。
- ③よく混ぜ合わせ、水分が無くなるまで煮詰め、塩で味を調える。
- ④次にハンバーグを作る。ボウルに鶏ひき肉、木綿豆腐、卵、すりおろしたしょうがを入れ、塩・こしょうをして、粘りが出るまでよく混ぜ合わせる。
- ⑤④を8等分して形を整え、中火で両面を焼き上げる。
- ⑥スライスした大塚にんじんを⑤に巻き、マヨネーズをトッピングした皿に盛り付ける。
- ⑦大塚にんじんソースを載せ、クレソンとピンクペッパーを添え、刻んだたくあんを飾って出来上がり。

ワンポイント アドバイス

ソースは、枯露柿の素朴な甘さが出るよう、ヘラでつぶすようによく混ぜながら作ってください。



料理監修
 フードコーディネーター
 菅澤香苗

動画で
 見てみよう

①スマートフォンまたはタブレットに「Layar」のARアプリをダウンロード(無料)②アプリを起動③料理の写真にかざした後、画面をタップすると、動画が再生されます。

Layar
 (レイヤー)

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。



■やまなし森の印刷紙
 この印刷紙には、FSC森林管理認証を取得した山梨県有林からの木材が使用されています。